

一般財団法人 みやぎん経済研究所
宮崎銀行ふるさと振興助成事業

《宮崎地区》 第37回
平成30年度

助成先決まる

産業開発部門

株式会社 池上鉄工所
代表取締役 松田 清 延岡市大武町39番地6

事業内容 食品酒造用サニタリーステンレストンク製造における溶接技術高度化事業



当社は、1946年の創業以来72年、地場中核企業を中心に、設計から機械加工・製缶溶接・配管・現場工事・メンテナンスまで行っており、受注生産型の多品種少量のものづくり企業である。これまで培ったメディカル・医薬分野でのサニタリー（衛生面に特化した製品）製品の製作ノウハウや経験、全国トップクラスの溶接技術を元に、今回、タンク内を均一に冷却する独自の冷却方法を考案し、既設の2～3倍の容量のタンク内で温度のバラツキをなくすビール醸造用サニタリーステンレストンクを製作した。【工都延岡】を代表する地元企業のひとつとして、今後も地域への貢献が大きく期待される企業である。

地方創生部門

日本救急システム 株式会社
代表取締役 白川 透 東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地

事業内容 過疎地域での救急救命業務の民間受託



当社は、全国初の救急救命業務の民間受託会社として、平成27年6月より美郷町北郷地区において救急救命業務を開始。平成28年4月同町南郷地区、同30年4月には同町西郷地区でも同業務を開始。常備消防を有していない自治体では、「役場救急」という体制をとっているが、救急救命士が救急車に乗務することで、救急救命処置による救命率の向上、人口減少に悩む過疎地域の住民サービスの向上が図られ、地域貢献度は非常に高い。白川社長を含め現在16名の救急救命士が美郷町に移住。各種町内イベントでの救護活動、心肺蘇生法講習会の開催など積極的に活動しており、地域の活性化にも大きく貢献している企業である。

地方創生部門

有限会社 ライフミュージック（村上三絃道）
代表取締役 島山 利枝 宮崎市阿波岐原町前浜4276-626

事業内容 「学校と地域を結ぶコンサート」を通しての地域活性化と伝統音楽の保存・伝承活動



当社は、「村上三絃道」の活動名にて、日本の伝統楽器である津軽三味線や民謡を通して、日本の伝統音楽の素晴らしさ・宮崎の魅力を発信している。従来からのスクールコンサートに加え、平成29年からは、「学校と地域を結ぶコンサート」を開始。中山間地域の少人数の学校を訪問し、生徒ばかりではなく地域の人々を無料で招待。心豊かな青少年育成・地域づくりに取り組んでいる。また、「ふるさと再発見」と題し、地域で歌い継がれてきた民謡などをアレンジして演奏。子どもたちに故郷の唄や文化に触れる貴重な機会を提供している。「ふるさと」への愛着心を育む取り組みであり、郷土の文化保存にも貢献している団体である。

地方創生部門

京町温泉 みなほ会
会長 仁科 睦子 えびの市昌明寺689

事業内容 ゆかたで彩るえびのの街



当会は、宮崎県内唯一の温泉郷である「京町温泉」に、以前の賑やかさを取り戻そうと、温泉旅館の女将たちが集まり平成24年6月に結成。地元出身のアーティスト入江万理子氏にデザインを依頼し、京町温泉独自の浴衣を作成。平成29年10月に市内外から女性100人を募り、その浴衣を着てえびの市内の名所（真幸駅等）で撮影会を実施する等、えびのの街のPRに尽力している。また、「温泉の魅力」「温泉の入り方」「京町温泉の歴史」などを伝える「温泉（おんがく）授業」を実施するなど、自分たちの旅館だけではなく、「京町温泉街」全体の活性化を目指し、積極的に取り組んでいる。今後の活動が大いに期待される団体である。

地方創生部門

五ヶ瀬ワイナリー 株式会社
代表取締役 原田 俊平 西臼杵郡五ヶ瀬町大字桑野内4847-1

事業内容 五ヶ瀬町産100%原料のワイン生産販売による地域振興と、廃棄物利用による商品開発



当社は、平成15年7月に五ヶ瀬町の第三セクターとして設立。「安心・安全」を理念に同町産のブドウを100%使用する等、農家の所得向上、後継者育成にも注力し、6次産業化を推進している。平成28年10月より、ワイン製造過程で発生するブドウの皮を利用したカンパチの餌を北浦町の養殖業者と研究開始。その餌を与えたカンパチは、「五ヶ瀬ぶどう桜舞カンパチ」として好評。平成30年10月からの「ご当地ワイン」の標記厳格化に伴い、五ヶ瀬町産ブドウ100%使用の五ヶ瀬ワインは増々注目され、また、レストランなどを併設しているワイナリーは、同町の主要な観光施設の一つとして、地域振興に大いに貢献している。

地方創生部門

宮崎県立看護大学 看護学部 看護学科
教授 江藤 敏治 宮崎市まなび野3丁目5番1号

事業内容 地域活性化における健康志向の人づくり・まちづくりへの支援



健康志向のまちづくりの実現は、高齢化、過疎化の進む宮崎県では極めて重要な課題である。平成25年度の日南市は高齢化率33%、医療費は県下で最も高く、国民健康保険加入者の特定健診受診率も37.4%と低いことから、健康に対する意識啓発が急務であった。江藤教授は平成26年6月、日南市と事業提携後看護大学の人材とスキルを投入、「健・幸」講演会等50回以上開催し市民の参加者数は延べ3300名に達した。日南市と緊密な連携を重ね、また多くの関係団体の協力もあり、平成27年度健診受診率は40.3%へ上昇し、一人当たりの生活習慣病にかかる医療費は平成24年度66,400円から60,930円へ減少し市民の健康志向の向上に寄与した。

地方創生部門

大山食品 株式会社
代表取締役 大山 憲一郎 東諸県郡国富町大字本庄5008番地

事業内容 自社醸造酢を活用した「柚子ホットソース」の海外販路拡大



当社は、創業88年の老舗食酢製造業として、大手メーカーの工業的方法ではなく、和薬を利用した古来からの製造方法（静置発酵法）で黒酢を製造している地場に密着した食品メーカーである。平成22年より、国産の柚子胡椒、当社醸造酢を利用した「柚子ホットソース」を製造開始。同28年からは米国への輸出も開始され、好評。今後は、米国以外の海外展開も視野に販路拡大中である。また、平成30年5月より宮崎大学と共同で、大手メーカーが参入しづらい木樽仕込みによる米酢の生産実験を開始。同米酢は、味のまろやかさや深みが増すとされており、本年度中の商品販売を予定。今後、地域振興に貢献が期待される取り組みである。

ベンチャー企業部門

株式会社 FREE POWER
代表取締役 浜元 陽一郎 宮崎市吉村町曾師前甲3172-2

事業内容 従来ギアより高効率のギア全般の研究開発



当社開発の自転車ギア「FREE POWER（フリーパワー）」は、ギア内部に特殊シリコンを内蔵し、自転車ペダルを踏み込む力でシリコンを圧縮させ、その反発力を効率よく推進力に変化させる。同時に足の筋肉や骨に与える衝撃を吸収して、体への負担を大幅に軽減させる、世界で唯一の自転車用クランクギアである。平成29年6月、関東でディスカウントショップを展開するOlympicグループと業務提携。30年3月より本格販売開始。3月～12月の受注は約2万個。更なる受注増が期待されている。今後、ヨーロッパをはじめ海外進出を検討。宮崎発、世界初の技術として、世界に向けて大きく飛躍が期待される企業である。

学術研究部門

宮崎県水産試験場 資源部
部長 松浦 光宏 宮崎市青島6-16-3

事業内容 日向灘海況情報提供システム「海の天気図」の開発



当試験場は、本県の儲かる水産業を推進する観点から、様々な技術開発や試験研究を行っている。今回の助成対象は、漁業者の協力を得ながら、漁船で計測された水温、潮流データをリアルタイムで収集し、これらのデータに気象庁や海上保安庁のデータ等を合わせて、操業に必要な情報を視覚的に理解しやすい海況図として自動作成し、漁業者に提供する日本初のシステムである。漁業者のデータを現場へ迅速に還元して、漁業活動に直接役立つ技術は、儲かる水産業の推進に大きく貢献する研究である。

学術研究部門

宮崎大学農学部 獣医学科
准教授 北原 豪 宮崎市学園木花台西1-1

事業内容 畜産業の生産性向上に向けた将来の繁殖性を評価する技術開発



北原准教授は、畜産業の生産性向上に向けた繁殖性の改良を図るべく、従来とは異なる視点で、産業動物の個体や群における新たな繁殖性を評価する技術開発を行っている。比較的採材が容易な血液や精液中にある抗ミューラー管ホルモン（AMH）などの物質を測定し、これらを臨床バイオマーカーとして活用した繁殖性の新たな評価法を開発した。本技術開発により、科学的根拠に基づいた繁殖管理や繁殖性の高い個体の選抜・増産を行えば、畜産業の生産性を向上させることができる。畜産業を基幹産業とする本県ほか九州地域において、地域経済の浮揚効果に波及することが大いに期待できる研究である。